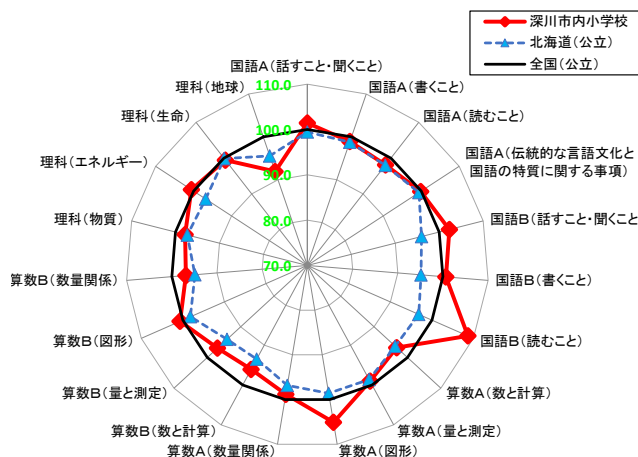


■ 深川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:126人)

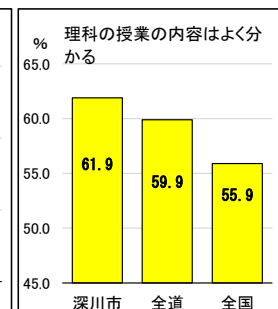
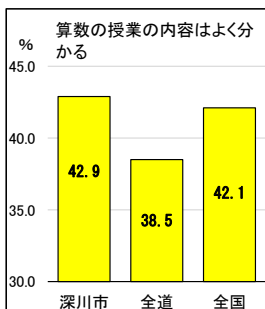
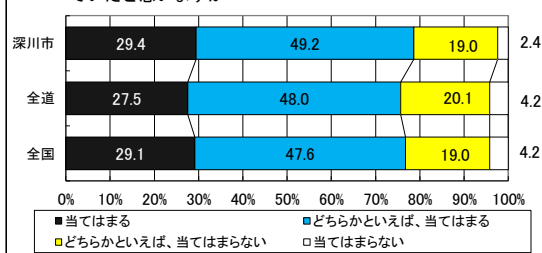
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

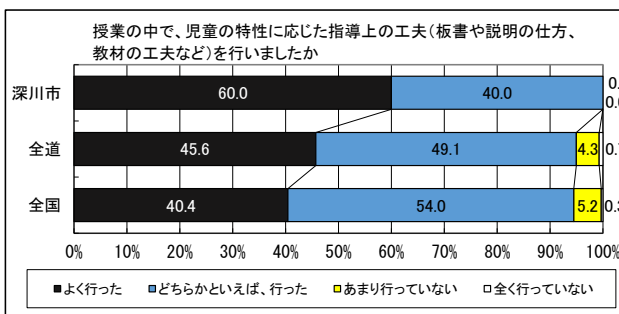
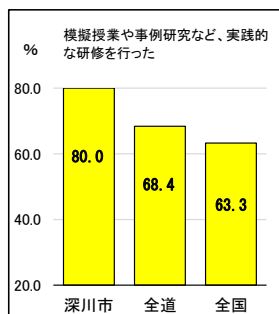
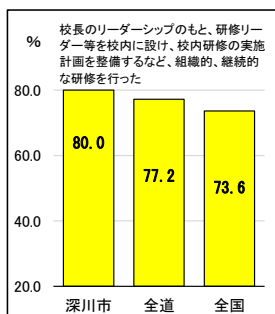


【児童質問紙調査】

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数A・Bでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「エネルギー」で全国を上回っている。	○ 校長のリーダーシップのもと、組織的、継続的な研修として、模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行った結果、算数や理科の授業の内容がよく分かる児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【深川市の学力向上策】

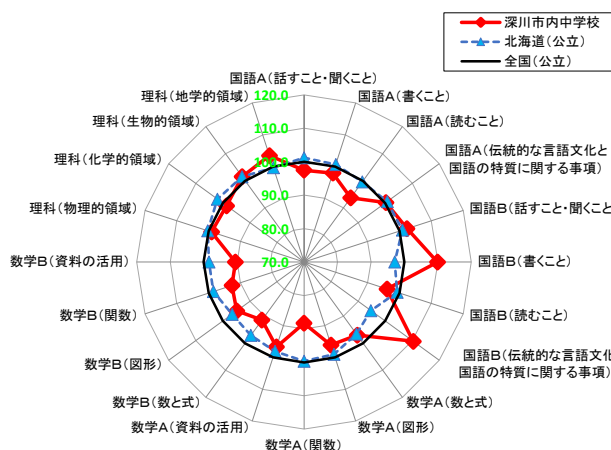
- ◎ 小・中学生を対象にした家庭学習や長期休業中の学習支援を行う「学習サポートプログラム」の継続
- ◎ 知育・徳育・体育の調和のとれた教育課程の編成及び実施・評価、改善のカリキュラム・マネジメントの機能強化
- ◎ 外国人英語指導助手の積極的な活用及び教職員向けの外国語指導研修の実施
- ◎ 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の構築及び小・中学校における特別支援教育支援員の配置
- ◎ 市立図書館と連携した朝読書や家読の推進
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん運動」及び「ノーゲームデー」による生活習慣の確立に向けた取組の充実
- ◎ 学び続ける教員像の具現化に資する教育振興会などを活用した研修機会の充実

■ 深川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:151人)

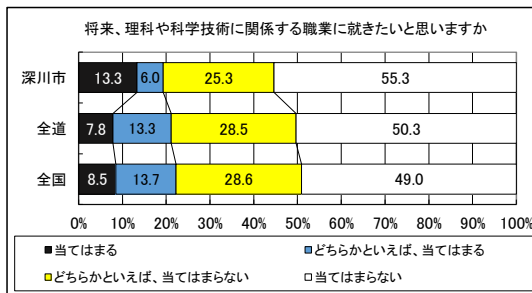
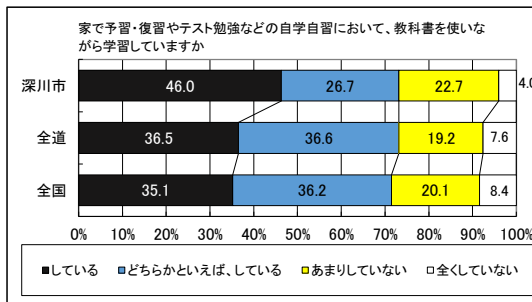
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

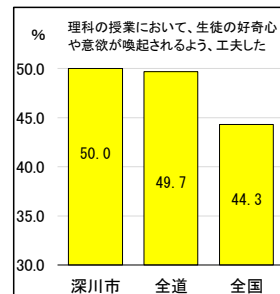
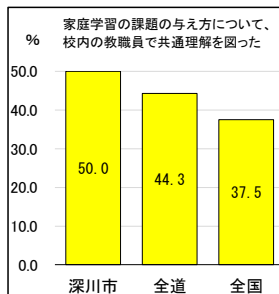
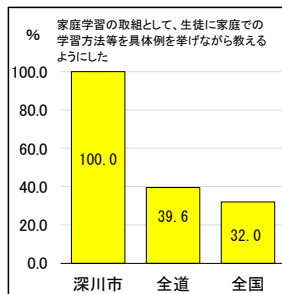
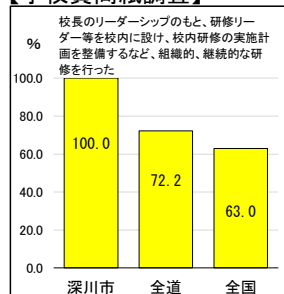
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「数と式」で、全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」「地学的領域」で全国を上回っている。	○ 校長のリーダーシップのもと、組織的、継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、理科の「生物的領域」「地学的領域」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図るとともに、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた結果、家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習する生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している。 ○ 「理科の授業において、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 理科の授業において、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫した結果、将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【深川市の学力向上策】

- ◎ 小・中学生を対象にした家庭学習や長期休業中の学習支援を行う「学習サポートプログラム」の継続
- ◎ 知育・德育・体育の調和のとれた教育課程の編成及び実施・評価、改善のカリキュラム・マネジメントの機能強化
- ◎ 外国人英語指導助手の積極的な活用及び教職員向けの外国語指導研修の実施
- ◎ 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の構築及び小・中学校における特別支援教育支援員の配置
- ◎ 市立図書館と連携した朝読書や家読の推進
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん運動」及び「ノーゲームデー」による生活習慣の確立に向けた取組の充実
- ◎ 学び続ける教員像の具現化に資する教育振興会などを活用した研修機会の充実